

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 27-9
補助事業名 平成27年度 障害者の就労を可能とするバリアフリー農作物生産システムの開発補助事業
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当協会の生産技術やICT技術を農業へ展開し、農作業を見える化、簡素化、負荷低減、安全性向上によるバリアフリー化を目指す。農作業のバリアフリー化は就労のハードルを下げ、障害者・高齢者の就労先として門戸を広げる。安価な工賃で働く障害者の生活の質を向上させるため、新たな収入源として農業に着目する。

(2) 実施内容

障害者の就労を可能とするバリアフリー農作物生産システムの開発

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1198)

1. 「作業内容入力システム」の開発

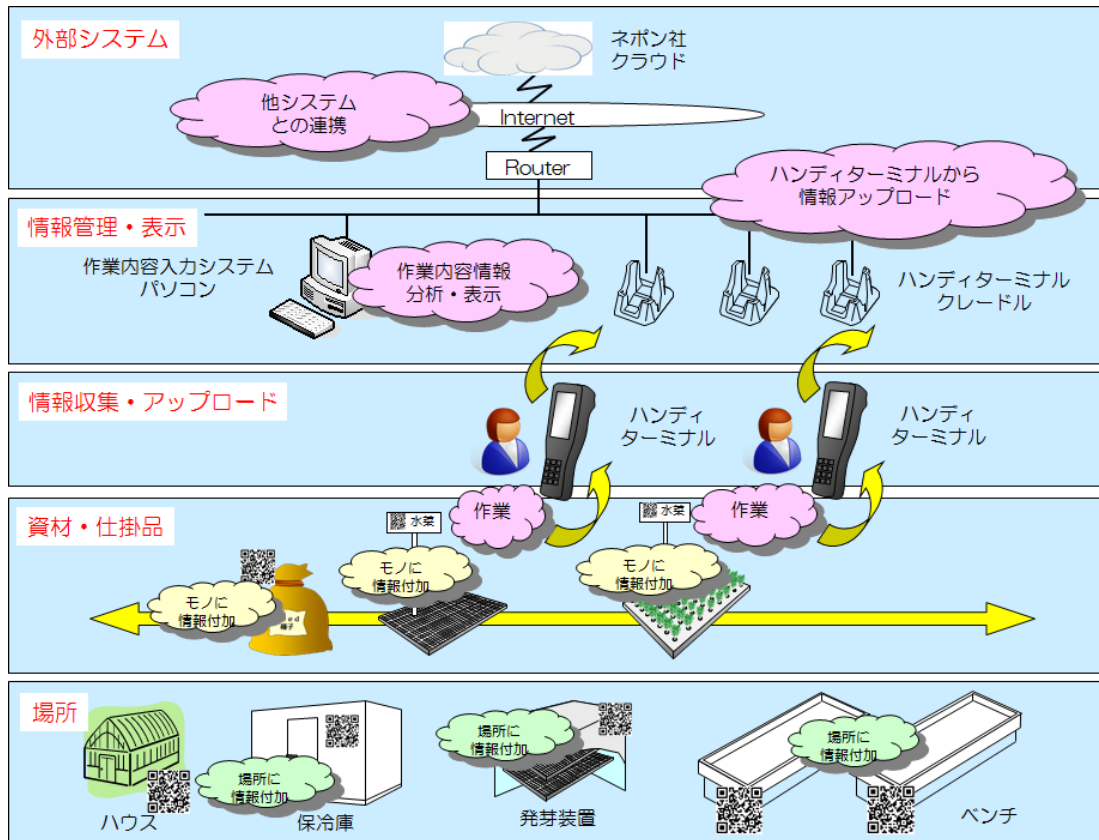
昨年度に開発した栽培管理システムを展開し、二次元コードなどを活用した作業内容入力システムを開発し、農作業の見える化、簡素化を進展させてバリアフリー化を目指す。市場の要求に即応し、圃場の状態を把握すると共に、作業内容を容易かつ正確にデータベースへ入力可能なシステムを開発する。

2. 「パレット生産対応型収穫装置」の開発

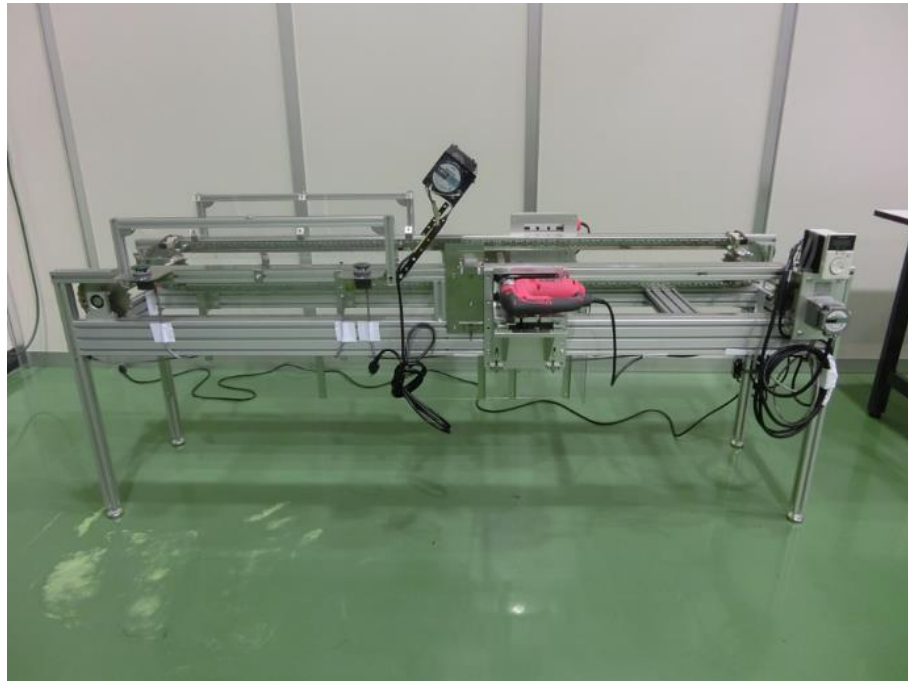
昨年度開発した装置をシステム展開するため、新たな作業工程として収穫装置を開発・追加してパレット生産システムを提案する。パレット生産装置に対応し、農作業の負荷低減、安全性向上に留意した設計を施し、バリアフリー化された農産物の収穫装置を開発する。

2 予想される事業実施効果

テクノフォーラム、展示会、学会発表等における成果発表では、農業法人などからシステム導入などについて依頼があった。今年度の成果物においても、最適化を図るために手直し等を施せば水平展開は可能である。本システムによって、障害者の就労やコンシューマーアグリ研究会会員企業を中心に農工連携ビジネスが活発化すると予想する。



作業内容入力システム

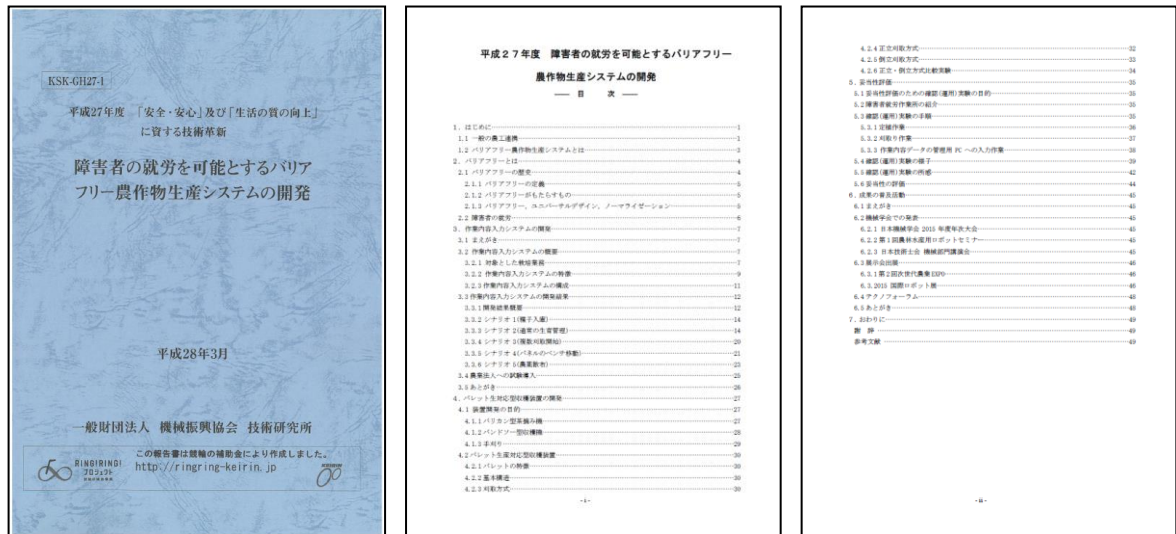


パレット生産対応型収穫装置

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

平成27年度 「安全・安心」及び「生活の質の向上」に資する技術革新
 障害者の就労を可能とするバリアフリー農作物生産システムの開発
http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1198



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 機械振興協会 (キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

代表者： 会長 庄山悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 技術研究所 技術開発センター (ギジュツケンキュウジョ ギジュツカイハツセンター)

担当者名： 飯塚 保 (イヅカ タモツ)

電話番号： 042-475-1188

F A X : 042-474-1980

E-mail : iizuka@tri.jspmi.or.jp

URL : http://www.jspmi.or.jp/